

# 子どもの国だより

Vol13 発行日:2005/10/15



## 子どもの国 活動内容

### ◆ 放課後学習支援事業「ゆめの木教室」

・小学生 14時～18時

・中学生 火、木曜日 18時30分～19時30分

### ◆ 中学就学年齢以上の子どもの自立支援事業「そら」

・水曜日 18時30分～20時

### ◆ 交流会

・毎月第3土曜日 18時～20時

### ◆ 子どもたちの活動月報の作成・配布

・毎月各家庭に配布

### ◆ 理事会

・隔月1回

### ◆ 事務局会議

・毎月1回

### ◆ スタッフ会議

・毎月1回

# ゆめの木教室の夏休み



～学んで遊んでケンカして、そしてまた仲直り～

長くて暑い夏休み。子どもはひとりで家にいるとだらけがちです。ゆめの木教室では夏休み期間も平日午後2時から6時まで通常通り活動し(お盆の1週間除く)、夏休みの大量の宿題や学習の手伝いをしています。2005年夏休みのゆめの木教室について報告します。

## 学 習

まず午後2時から2時間は勉強タイム。

子どもは夏休み前にそれぞれ担当のスタッフと相談しながら自分たちで決めた夏休みの学習目標(宿題と漢字・算数のドリル2ページなど)に取り組みます。さらに週替わりで「子どもたちもスタッフのマンツーマンでの指導により、自分の言葉で作文や感想文を書くことができました。定期的にゆめの木教室に通うことができた子どもたちは夏休みの課題を完成することができました。

## 体験的な学習など・・・

午後4時以降は、外部からさまざまな講師を招いて音楽や料理、サッカー、新聞作りなどの体験的な学習や遊びを行いました。

また公営プールや豊田市中心図書館へも電車・バスに乗って遠征しました。

### ●7月28日「アイスクリーム作り」(提供者:ゆめの木スタッフ)

男の子も女の子も張り切って参加しました。アイスクリームは予想以上に固まるのに時間がかかり、帰る時間になると、まだドロドロのまま飲んでしまう子、家の冷凍庫で固めてからというじっくり派など、子どもの個性がよく出ていました。

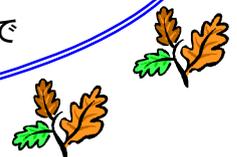
### ●8月24日「外国の遊び」(提供者:多文化共生サークル smile)

普段は勝手な行動をとりなかなかまとまらない子どもたちが、イギリス式「だるまさんがころんだ」やベトナム版「フルーツバスケット」にとっても集中し楽しんでいました。

## 感 想



夏休みのさまざまな活動を通して、電車に乗ってはしゃいだり、話し合いでリーダーシップを取る姿など、普段では見られない子どもの姿を見ることができました。特に、夏休み前はそれほど親しくしていなかった子ども同士が新聞作りや遊びを通じてどんどん親交を増していく姿がありました。秋になり、勉強だけではない夏休みの成果をゆめの木教室で感じています。



## 交流会

毎月の交流会では、こどもの国スタッフと子どもたち、子どもの保護者が集い、その月のお誕生日の子を祝い、その後、子ども達による「詩」の暗唱や表彰式を行います。

七夕の季節には浴衣を着て短冊を書いたり、秋には皆でお月見団子を作って食べたりと、季節ごとの企画も行っています。7月に行った「詩」の暗唱では、発表する子が前に出て一列に並び、順に発表をしていきました。中でもスタッフが語彙の少なさを気に掛けている、普段は小さな声でしか話さないMちゃんが、

大きな声で堂々と暗唱した姿には感動してしまいました。皆の前で発表していくことは子ども達にとって自信になると感じています。



また、交流会では保護者を対象に教育に関する情報提供や懇談会の時間も設けています。



Hくんお誕生日おめでとう



ゆかたでポーズ

## そら

中学生就学年齢以上で、目的意識の持てない子どもを対象に、自分を見つめ、自分がつきたい職業について考える機会を提供しています。今回はある日の「そら」の時間を報告します。

平成17年5月25日(水)「そら」

職業についてどんなイメージを持っているのかを、それぞれに尋ねるところから始めました。Aさんは以前も聞かせてくれたように、保育士になりたいと話しました。そして、保育士になるために高校へ行きたいと考えています。Bさんも保育園に職業体験へ行った話をしてくれました。「とても大変だった。子どもたちに振り回された」と聞かせてくれました。

Cさんは、今の仕事を前の仕事と比較して給料が安いものの少しは楽だと考えているようです。また、やめたくないとも話しています。前の仕事は自分が怠けたわけではなく、体調不良が続いてやめさせられてしまったようです。

Dくんはかつて仕事をやめようと思ったときに、所長に引き止められたことを話しました。誇りに感じているようです。

そらメンバーが帰った後の帰りの会では、彼らが保護者と同じ自動車関連の工場で働くことだけを就職の道と考えるのではなく、自由度の高い選択からこそ自分らしさが表れるのではないかと話し合いました。

★夏休みにゆめの木教室で「外国の遊び」を提供してくれたsmileの方から感想をいただきました。



「みんな元気すぎるぐらい元気に参加してくれて  
とてもうれしく、自分たちも楽しませてもらった感じでした。  
世界の遊びを通して、みんなの中の世界が少しでも  
広がってくれたらという願いとともに、またゆめの木の  
子ども達に会いたいという気持ちでいっぱいです。」



★学習の後の時間にサッカー指導をしてくださる山内さんにインタビュー！

Q. 保見団地の印象は？

荒れた閉鎖的な団地を想像していましたが、  
実際に来てみたら、日本のどこにでもある普通の団地でした。

Q. ゆめの木教室はどんな教室ですか？

子どもたちがいろいろな話を聞かせてくれるので、  
打ち解けるまで時間がかかりませんでした。

Q. 子どもたちの様子は？

集団生活に慣れにくい子が多いようです。

カーです！

子どもたちの中で、リーダーが育つと良いですね！  
年上の子が年下の子をみられるようになると良いと思います。



水曜日はサッ

山内さん ありがとうございます。

★壁新聞「ゆめの木新聞」完成！

今年の夏休みのまとめとして、最終週の勉強後にみんなで「ゆめの木新聞」を作りました。グループに分かれて、「両親のお仕事」「両親の生まれた国」「夏休みの思い出」というテーマで記事を書きました。親に聞いて本格的に取材メモを作成してきた子どもがいたり、自己紹介のコーナーでは「フィリピンの大統領になりたい」と書く子もいました。作文を苦手とする子どもたちが、グループみんなで400～800字の記事をまとめることができたことは大きな成果です。その中から、Bちゃんの書いたお母さんの仕事についての記事を紹介します。お母さんへの思いが伝わってきます。

.....  
● おかあさんは車のぶひんの仕事をしています。たいへんなことは車のぶひんがとても重いです。  
● たのしいところは、お食事のときにみんなと話すのがたのしいです。  
● たまにお母さんは土曜日もお仕事をしています。たいへんなことは、お仕事をしているときにトイレへ  
● 行きたくても、行けないことです。  
.....

ホームページ

<http://www.kodomonokuni-aichi.org/>

メールアドレス

Kodomonokuni1999@yahoo.co.jp